

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 16 日(2024.12.16)

【公開番号】特開 2024-20436(P2024-20436A)
【公開日】令和 6 年 2 月 14 日(2024.2.14)
【年通号数】公開公報(特許)2024-028
【出願番号】特願 2023-195187(P2023-195187)
【国際特許分類】

C 1 2 N 15/13(2006.01)

10

C 0 7 K 16/30(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/13

C 0 7 K 16/30 Z N A

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 T

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 6 日(2024.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号：24 のアミノ酸配列を有する重鎖 C D R 1、
配列番号：25 のアミノ酸配列を有する重鎖 C D R 2、および
配列番号：26 のアミノ酸配列を有する重鎖 C D R 3 を有する重鎖可変領域、ならびに
配列番号：27 のアミノ酸配列を有する軽鎖 C D R 1、
配列番号：28 のアミノ酸配列を有する軽鎖 C D R 2、および
配列番号：29 のアミノ酸配列を有する軽鎖 C D R 3 を有する軽鎖可変領域を有し、一つ
以上の上記 C D R において少なくとも 1 個の置換、付加もしくは欠失を有する H E R 2 に
特異的に結合する単離された抗体、または、F a b、F a b'、F (a b')₂、F v、s
c F v (単鎖 F v)、ダイアボディー、s c D b、タンデム s c F v、ロイシンジッパー
型、および s c (F v)₂ (単鎖 (F v)₂) からなる群から選択される、その抗原結合
性断片を有する H E R 2 標的化剤を有効成分として含む、がんを処置するための医薬組成
物であって、がんが固形腫瘍または H E R 2 陽性のがんである医薬組成物。

30

40

【請求項 2】

配列番号：16 のアミノ酸配列を有する重鎖可変領域および、
配列番号：17 のアミノ酸配列を有する軽鎖可変領域を有する；もしくは
上記の各可変領域において少なくとも 1 個の置換、付加もしくは欠失を有する、H E R 2
に特異的に結合する単離された抗体、または、F a b、F a b'、F (a b')₂、F v、
s c F v (単鎖 F v)、ダイアボディー、s c D b、タンデム s c F v、ロイシンジッパ
ー型、および s c (F v)₂ (単鎖 (F v)₂) からなる群から選択される、その抗原結
合性断片である請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

50

s c F v である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

s c F v が、軽鎖可変領域及び重鎖可変領域が人工のポリペプチドリンカーで連結され、元の抗体と同じ抗原特異性が維持され得る s c F V である請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

固形腫瘍が、肺がん、膵臓がん、頭頸部がん、前立腺がん、膀胱がん、乳がん、食道がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、卵巣がん、皮膚がん、甲状腺がん、胸腺がん、腎臓がん、精巣がん、陰茎がん、肝臓がん、胆道がん、脳腫瘍、骨軟部腫瘍、後腹膜腫瘍、血管・リンパ管肉腫、およびこれらの転移性のがんからなる群から選択される固形腫瘍である請求項 4 に記載の医薬組成物。

10

【請求項 6】

他の抗がん剤と併用する請求項 5 に記載の医薬組成物。

20

30

40

50